

第3回協議会だより《中方部》

令和8年1月22日（木）9:45～11:45

【授業と保育の相互参観】 郡山女子大学附属幼稚園



郡山女子大学附属幼稚園は、「よくみる よく聞く よくかんがえて」を教育目標に掲げ、幼児期に最も大切な友だちとの遊びを通して、協働性や思考力を育み、子ども自身の心身の成長を支える基盤作りに力を注いでいます。そのため、子どもたちが主体的に遊びを選び（好きな場所や好きな遊びを自ら選ぶなど）、夢中になって遊べる環境づくりを大切にしています。今回の公開保育では、子どもの思いに寄り添った環境づくりによって多様な遊びが展開されました。特に、年中組のお店屋さんごっこでは、年少児を招いてカレーを振る舞う姿があり、年中さんが優しく丁寧に接している様子が印象的でした。また、年長組の英語教室も参観させていただき、子どもたちは野菜や果物の名前をクイズ形式で楽しみながら英語に親しんでいました。どの場面においても、先生方が子どもたちに寄り添い見守る姿勢が、子どもたちの主体性や自信を育み、小学校へのスムーズな移行につながっていると感じました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。

テーマ 幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方について



① 保育参観について

- ・ランドセル作りをはじめとする物作りがとても凝っていると感じました。また、ごっこ遊びの中で子どもたち同士のやりとりや声のかけ方が素晴らしいと思いました。
- ・子どもたちにとってやりたいことの連続で、それを受け止めるだけの先生と環境があり、色々なところに学びの種が散らばっていると感じました。

② 遊びや環境を通して育まれる資質・能力について

- ・「10の姿」を踏まえた幼稚園の先生方の取組や想いを小学校でも受け止めしていく必要があると感じました。
- ・子どもたちがどのように遊ぶか予想しながら環境を整えたり、物を準備したりしていました。

③ 就学にむけた幼保と小の情報共有について

- ・ICTを活用して、更に有効な情報共有の手段がないかと考えています。

《参加者からのアンケート》

- ・附属の先生方の子どもたちへの温かい言葉かけや温かいクラスづくりを感じ、私自身が温かい気持ちになりました。
- ・子どもの学びを繋げるために、まずは幼稚園の先生方の思いを受けとめながら、さらに子どもが学びに向かっていける環境をつくってあげられたらと思いました。